



令和元年台風第19号で被害を受けた橋などの復旧状況(国道20号法雲寺橋(左上)、中央自動車道与瀬地区(右上)、JR中央本線(左下))、災害防除工事を実施した国道413号(右下)

災害に負けない県外との交通ネットワークの確保

令和元年の台風第19号では、東京と山梨間で長期間交通が寸断され、県民生活に深刻な影響を与えました。この経験を踏まえ、県は関係機関と連携して、災害時に県外との交通を確保するため、交通ネットワークの強靱化に取り組んでいます。

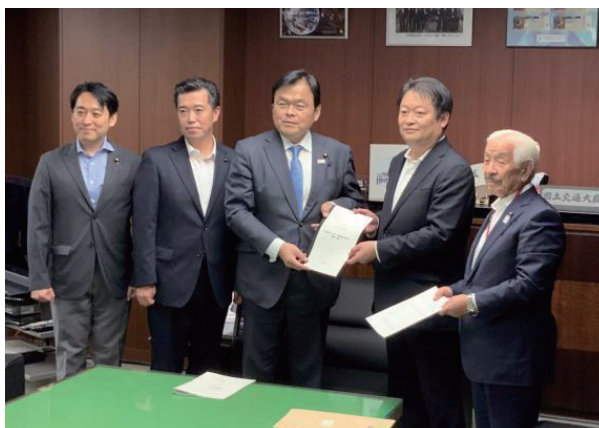
災害時も県民生活に必要な交通を確保する

県外との人や物の流れを支える道路や鉄道が災害時に機能停止となり、県外との交通が寸断されることのないよう、県では、道路網の整備や物資・燃料の確保、発災後のインフラ復旧対策などに力を入れて取り組んでいます。

そのような中、令和元年の台風第19号は、短時間に大量の降雨をもたらし、県内の交通機関に甚大な被害を与えました。特に、東京と山梨・長野を結ぶ中央自動車道、国道20号、JR中央本線が同時に被災し、約1週間にわたり県外との交通が寸断され、通勤や通学、物流、医療などにさまざまな影響が及びました。

この事態を受け、災害復旧を進め

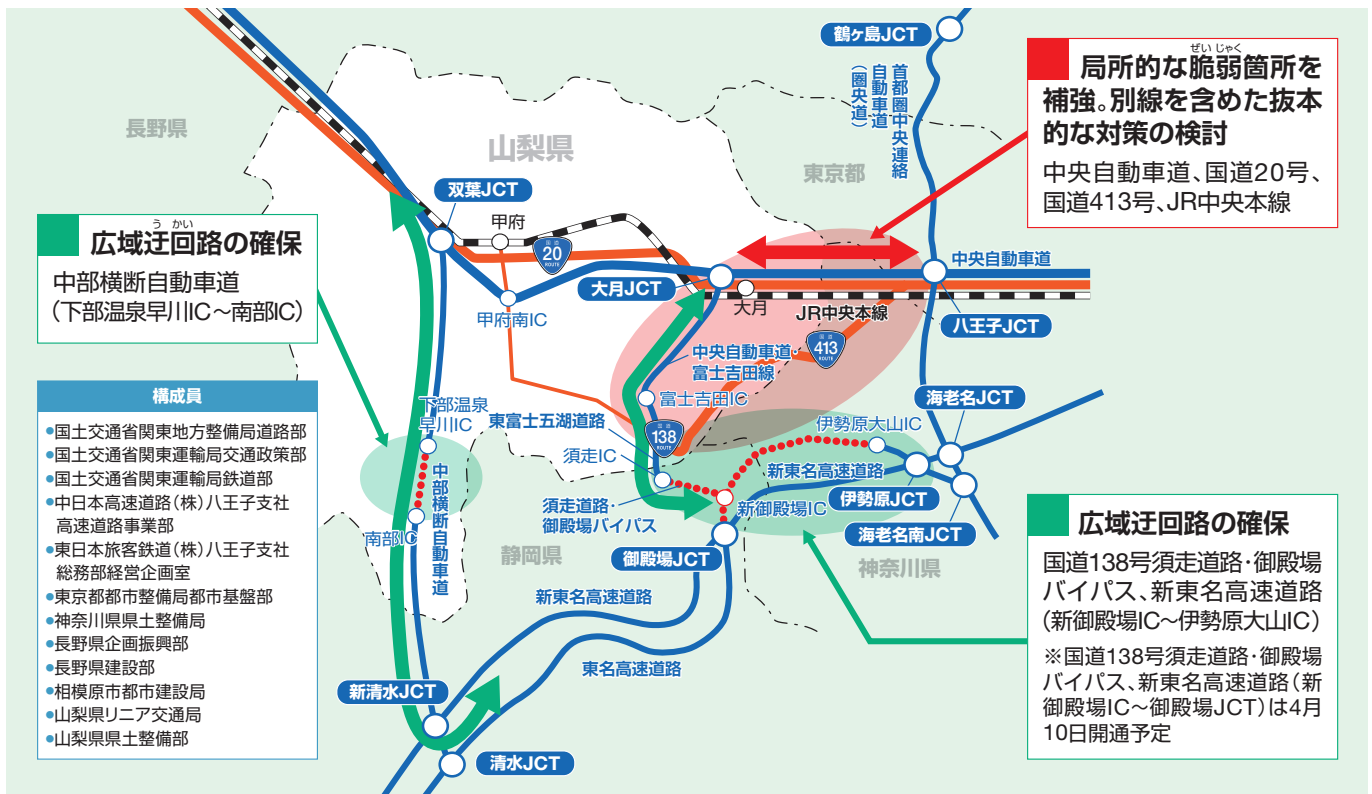
るとともに、県外との交通の寸断を繰り返さないためには、沿線都県市や道路、鉄道管理者と共同して対策をとることが必要と考え、それらの関係機関と課題を共有し、取り組みの方向性を具体化、検討する「東京



赤羽国土交通大臣に要請書を渡す長崎知事ら

東京～山梨・長野交通強靱化プロジェクトの取り組みの方向性

脆弱箇所の強靱化



高速道路推進課
名取 優太 技師

県外との交通ネットワークを寸断させない東京～山梨・長野交通強靱化プロジェクト

令和元年の台風第19号で東京方面への道路、鉄道が全て不通となり、都心への通勤・通学困難、都内在住医師の休診、食料や日用品の品薄など県民の生活に支障がでました。

このような事態を再び繰り返さないため、本プロジェクトでは強靱化に向けた取り組みが着実に進められ、その成果が表れてきています。

「山梨・長野 交通強靱化プロジェクト」を山梨県が立ち上げ、取り組みを進めています。

また、昨年7月、長崎知事らが国土交通大臣を訪問し、防災・減災や国土強靱化対策に必要な予算の拡充などを要望しました。その後、国が「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を新たに予算化したことから、今後は、関係機関と連携し、この具体的な施策を推進していきます。



協定書を手にする長崎知事と本村相模原市長

国道413号の強靱化に関する協定を相模原市と締結

国道413号は、山梨県と神奈川県相模原市の住民生活や物流などを支え、また、災害発生時には、国道20号などの代替路線となる重要な道路ですが、令和元年の台風第19号により、国道413号の相模原市内8カ所で崩落などが発生し、復旧するまでに時間を要しました。

そこで、さらなる交通強靱化に向け、相模原市と協定を締結し、災害発生時の情報共有や早期復旧、道路防災・減災対策を推進することとしました。山梨県が県外の自治体と道路強靱化に関する協定を結ぶのは初めてとなります。

【問い合わせ先】 県土整備総務課 TEL 055-223-1668 FAX 055-223-1674